

5. 製造設備の明細

(1) 要目

番	号		
型	式		
冷 媒 ガ ス の 種 類			
基 準 凝 縮 温 度 (°C)			
許容圧力 (MPa)	高 圧 部		
	低 圧 部		
備	考		

(2) 圧縮機の性能 (図面は、別紙 _____)

番	号		
型	式		
圧 縮 機 の 種 類			
気 筒 内 径 (mm)			
行 程 (mm)			
気 筒 数			
回 転 数 (rpm)			
ピ ス ト ン 押 の け 量 (m ³ /h)			
原 動 機 定 格 出 力 (kW)			
製 造 所 名			
安 全 装 置	安 全 弁	口 径 (m m)	計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。 計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。
		吹 始 め 圧 力 (M P a)	
		吹 出 し 圧 力 (M P a)	
		材 料	
	高 圧 遮 断 装 置	作 動 圧 力 (M P a)	
	ガ ス 検 連 動 緊 急 遮 断 装 置	有 ・ 無	
	高 温 遮 断 装 置	有 ・ 無	
備	考		

(3) 高圧部容器

<凝縮器 () > (図面は、別紙 _____、強度計算書は、別紙 _____)

番 号					
型 式					
設 計 圧 力 (MPa)					
設 計 温 度 (°C)					
シ エ ル 型	外径×長さ×胴板厚× 鏡板厚 管板厚 (mm)				
	内 容 積 (ℓ)				
	鏡 板、管 板 の 形 状				
	材 料 (胴板・鏡板) 管板		胴 管板	胴 管板	
コ イ ル 型	管径 (mm) × 列数 × 段数 × 管の長さ (mm)				
	管 の 材 料				
プ レ ー ト 熱 交	高 さ × 幅 × 長 さ × 伝 熱 板 厚 (mm)				
	伝 熱 板 の 枚 数				
	伝 熱 板 の 材 料				
製 造 所 名					
安 全 装 置	安 全	口 径 (mm)	計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。	計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。	
		吹 始 め 圧 力 (MPa)			
	弁	吹 出 し 圧 力 (MPa)			
		材 料			
	置	散水口 (空冷式)	有・無		
		ガス検連動 出口緊急遮断装置	有・無		
備 考					

< 熱交換器 () > (図面は、別紙 _____ 、強度計算書は、別紙 _____)

番	号			
型	式			
設	計 圧 力 (MPa)			
設	計 温 度 (°C)			
シ エ ル 型	外 径 × 長 さ × 胴 板 厚 × 鏡 板 厚 管 板 厚 (mm)			
	内 容 積 (ℓ)			
	鏡 板 、 管 板 の 形 状			
	材 料 (胴 板 ・ 鏡 板) 管 板	胴 管板	胴 管板	
コ イ ル 型	管 径 (mm) × 列 数 × 段 数 × 管 の 長 さ (mm)			
	管 の 材 料			
プ レ ー ト 熱 交	高 さ × 幅 × 長 さ × 伝 熱 板 厚 (mm)			
	伝 熱 板 の 枚 数			
	伝 熱 板 の 材 料			
製	造 所 名			
安 全 装 置	安	口 径 (mm)	計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。	計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。
		全	吹 始 め 圧 力 (MPa)	
	吹 出 し 圧 力 (MPa)			
	弁	材 料		
		散 水 口 (空 冷 式)	有 ・ 無	
	置	ガ ス 検 連 動 出 口 緊 急 遮 断 装 置	有 ・ 無	
備	考			

<受液器 () > (図面は、別紙 _____ 、強度計算書は、別紙 _____)

番	号			
型	式			
設	計	圧	力 (MPa)	
設	計	温	度 (°C)	
外		径×長さ×胴板厚×鏡板厚 (mm)		
内		容 積 (ℓ)		
鏡		板 の 形 状		
材		料 (胴 板 ・ 鏡 板)		
製		造 所 名		
安 全 装 置	安	口	径 (mm)	
		計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。		計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。
	全	吹		始め圧力 (MPa)
		吹		出し圧力 (MPa)
	弁	材		料
置	ガ		ス 検 連 動 有 ・ 無	
備		考		

<油分離器 () > (図面は、別紙 _____ 、強度計算書は、別紙 _____)

番	号		
型	式		
設	計	圧	力 (MPa)
設	計	温	度 (°C)
外		径×長さ×胴板厚×鏡板厚 (mm)	
鏡		板 の 形 状	
材		料 (胴 板 ・ 鏡 板)	
製		造 所 名	
備		考	

< 蒸発器 () > (図面は、別紙 _____ 、強度計算書は、別紙 _____)

番	号		
型	式		
設	計	圧	力 (MPa)
設	計	温	度 (°C)
外径×長さ×胴板厚× 鏡板厚 管板厚 (mm)			
鏡板、管板の形状			
材 料 (胴板・鏡板 管板)			
製 造 所 名			
安 全 装 置	安	口 径 (mm)	計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。 計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。
	全	吹 始 め 圧 力 (MPa)	
		吹 出 し 圧 力 (MPa)	
	弁	材 料	
置	ガ ス 検 連 動 出口緊急遮断装置	有・無	
備 考			

(4) 低圧部容器

< () > (図面は、別紙 _____)

番 号			
型 式			
設 計 圧 力 (MPa)			
設 計 温 度 (°C)			
外径×長さ×胴板厚× 鏡板厚 管板厚 (mm)			
鏡 板 、 管 板 の 形 状			
材 料 (胴 板 ・ 鏡 板) 管 板			
製 造 所 名			
安 全 装 置	安	口 径 (mm)	計算書は別紙[]に示す。 計算書は別紙[]に示す。
	全	吹 始 め 圧 力 (MPa)	
		吹 出 し 圧 力 (MPa)	
		材 料	
	置	ガ ス 検 連 動 出口緊急遮断装置	有 ・ 無
備 考			

(5) 配管

区 分	設計圧力 (MPa)	設計温度 (°C)	材料
高 圧 部			
低 圧 部			

(6) 止め弁及び自動制御弁

区 分	止め弁、自動 制御弁の区分	型 式	設計圧力 (MPa)	設計温度 (°C)	口径 (mm)	材 料	個 数
高圧部							
低圧部							

(7) 自動制御装置

種 類	有 ・ 無	作動圧力 (MPa)
低 圧 遮 断 装 置		
油 圧 遮 断 装 置		
過 負 荷 保 護 装 置		
凍 結 保 護 装 置		
断 水 保 護 装 置		
送 風 器 連 動 機 構		
過 熱 防 止 装 置		
感 震 器 連 動 緊 急 停 止 装 置		
ガ ス 検 連 動 除 外 設 備		
ガ ス 検 連 動 機 構		
(吸 収 式 発 生 器) ガ ス 検 連 動 緊 急 停 止 装 置		
溶 液 高 温 遮 断 装 置		
安 全 弁 作 動 検 知 セ ン サ ー		

6. 耐圧、気密等の性能（完成検査時まで提出すること。）

- (1) 材料試験等、耐圧試験及び気密試験証明書 別紙 _____
- (2) 冷凍用圧縮機耐圧試験気密試験証明書 別紙 _____
- (3) 機器試験合格証明書 別紙 _____

7. 製造施設の位置及び付近の状況

別紙 _____（平面図及び立面図）に示す。

8. 製造施設の構造及び製造設備の配置

別紙 _____（平面図及び立面図）に示す。

特に図中に明示する事項	図中の番号等	特に図中に明示する事項	図中の番号等
引火性、発火性のものをたい積した場所		消火設備	
火気		防液堤	
警戒標		防爆構造の電気設備	
室の開口部		ガス漏えい	検出端部
警報部		検知警報設備	警報部
圧力計		除害設備	
安全装置		保護具の保管場所	
安全弁の放出管開口部		保安上重大な影響を与えるバルブ等	
受液器の液面計		感震器	
受液器と液面計との間の止め弁			

9. 製造設備の状況

(1) 火気等の状況

引火性、発火性のものをたい積した場所	無				
	有	種類	量		
		冷媒施設からの距離 (m)			
火気	無				
	有	種類	(ボイラの場合は伝熱面積 () m ²)		
		冷媒施設からの距離 (m)			
		防火壁又は温度上昇防止措置の有無及び種類	無		
		有	種類		

(2) 警戒標

表示事項			

(3) 振動、衝撃、腐しよくにより冷媒ガスが漏洩しない構造

防振措置	振止め
	可撓管
	防振装置 ()
	その他 ()
突出部等の防護装置	
防しよく措置	塗装
	その他 ()

(4) 耐震設計

凝縮器 (たて置円筒形で胴部長さ 5m 以上)	無
	有 計算書は別紙 [] に示す。
受液器 (内容積 5000ℓ 以上)	無
	有 計算書は別紙 [] に示す。
外径 45mm 以上の配管 (内容積 3 m ³ 以上又は上記の凝縮器もしくは受液器に接続されているもの)	無
	有 計算書は別紙 [] に示す。

(5) 滞留しないような構造

区分	開口部面積 (m ²)	換気能力 (m ³ /min)
開口部 の み の 場 合		
開口部の不足分を強制換気装置で補う場合		
強制換気装置 の み の 場 合		

(6) 圧力計

区分	取付箇所	最高目盛 (MPa)	個数
高 圧 部			
低 圧 部			
圧縮機潤滑油			

(7) 受液器の液面計

液面計の種類	
ガラス管液面計の破損防止措置	

(8) 消火設備

消火設備の種類	能力	数	量
消火器	能力単位 (B-)		本
その他 ()			

(9) 防液堤

受液器の内容積 (ℓ)	
防液堤の内容積 (ℓ)	

(10) 電気設備の防爆性能

電気設備の種類	防爆構造の種類	個数

(11) ガス漏えい検知警報設備

区分	設備周囲長さ (m)	設備面積 (㎡)	検知部個数	警報設定値
屋内				
屋外				

(12) 除害措置

拡散防止措置		
除害設備の種類		
除害材	種類	
	保有量	

(13) 保護具

保護具の種類			
個数			

(14) 配管、バルブ類

種類	個数	開閉状態の表示	流体の種類及び方向の表示	封印等の措置
配管				
安全弁				封印
安全弁の元弁				禁札
自動弁				
圧縮機吐出弁				
冷却水の止め弁				
ブライン止め弁				
高低圧を区分する弁				

注) 自動弁とは電磁弁、逆止弁等をいう。

10. 冷凍保安責任者及び代理者の選任予定者

種類	氏名	資格
冷凍保安責任者		第 種冷凍機械責任者
同 代 理 者		第 種冷凍機械責任者

11. 完成予定日 _____年____月____日

12. 工事施工業者

名称				
所在地				
電話番号				
担当所属・氏名				
工事認定業者	認定区分番号		認定年月日	

13. 申請者連絡先

名称				
所在地				
電話番号				
担当所属・氏名				
県高圧ガス保安協会への加入状況	加入する(予定含む) ・ 加入しない			